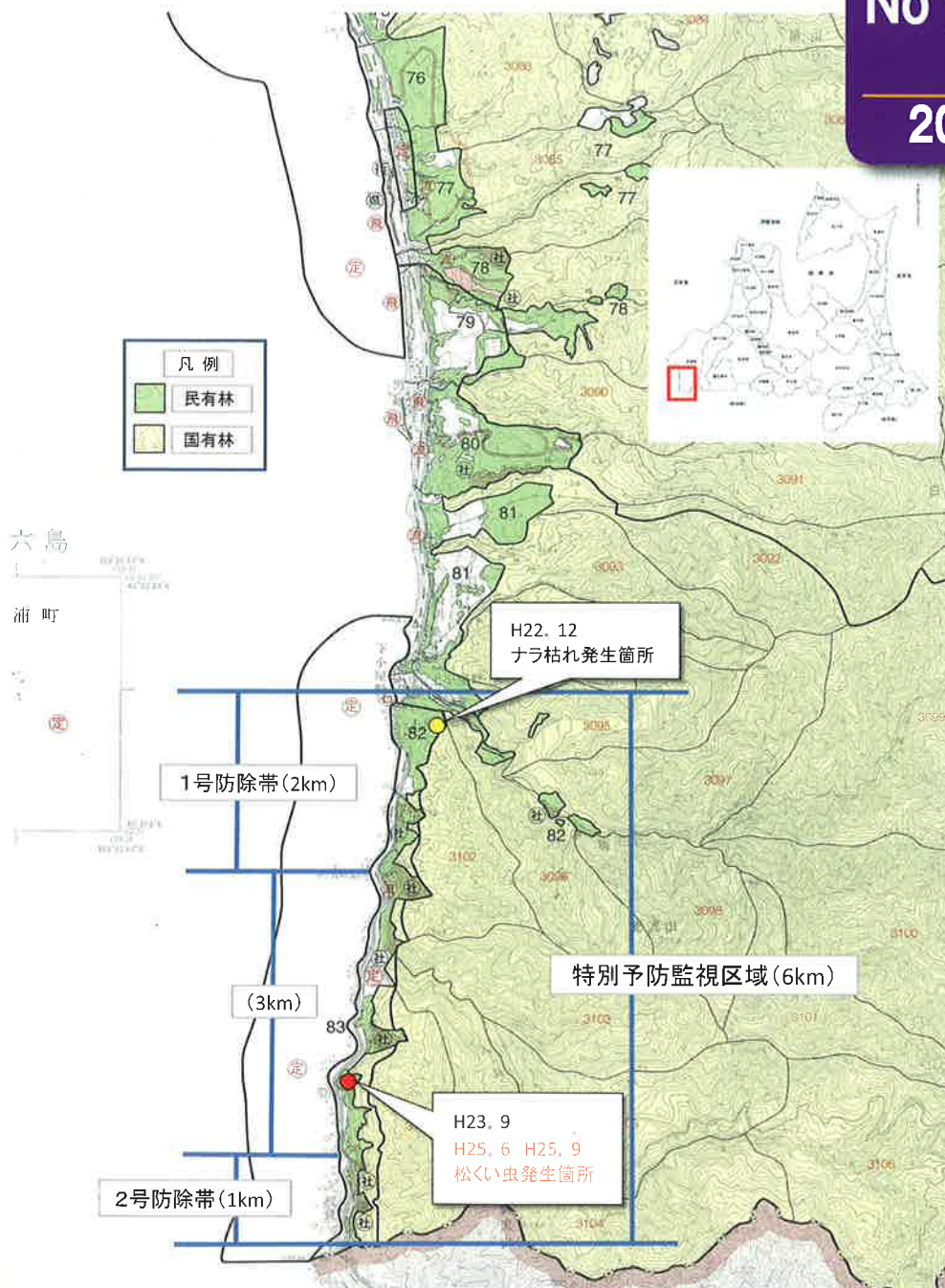


青森県森林病虫害等 防除センターだより

No 41

2014. 2



平成25年度 松くい虫被害発生位置図

青森県森林病虫害等防除センター

平成25年 深浦で松くい虫被害2件確認

平成25年、県内において松くい虫被害(マツノザイセンチュウ病)が2件確認されました。県が発表した内容は、別紙のとおりです。

平成25年 6月26日
青森県農林水産部
プレスリリース

松くい虫被害の発生について

深浦町大間越地区の「特別予防監視区域(以下「監視区域」という。)」内において、クロマツの枯死木からマツノザイセンチュウが検出され、松くい虫被害が確認された。

1. 被害木の場所等

- (1) 場所：深浦町大字大間越字^{かけい}笥地内
- (2) 被害木：クロマツ、37年生、2本

2. 経緯

- (1) 5月30日：県職員が、松くい虫調査の巡回中に枯死木を確認(計6本)。ただちに伐採処理。
- (2) 5月31日：簡易検査で、うち2本から陽性反応。(独)森林総合研究所東北支所(盛岡市)に精密鑑定を依頼。
- (3) 6月17日：(独)森林総合研究所から、マツノザイセンチュウを検出した旨の鑑定書を受理。

3. これまでの対応

- (1) 6月3日：県内全域の主要マツ林を目視調査。新たに異常木11本、枯死木17本が確認され、簡易検査で全て陰性と判明(6月14日)。全て伐採処理。
- (2) 6月17日：記者発表及び異常木の情報提供を呼びかけ。
- (3) 6月19日：県内市町村に対し、広報紙等に被害発生の周知と異常木の情報提供の掲載を依頼。
- (4) 6月20日：県のホームページで、被害発生の周知と異常木の情報提供を呼びかけ。
- (5) 6月24日：ラジオで、被害発生の周知と異常木の情報提供を呼びかけ。
～27日

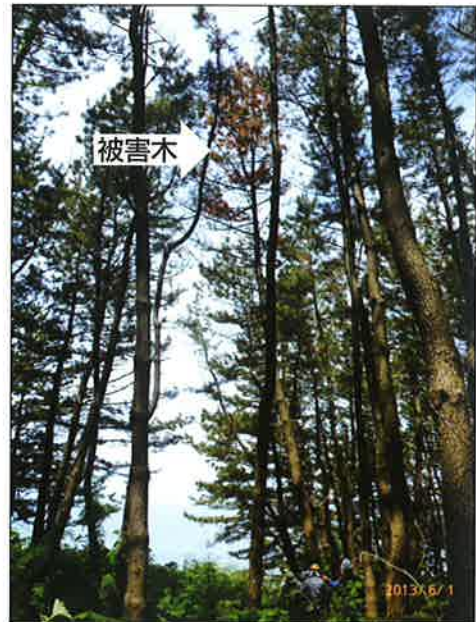
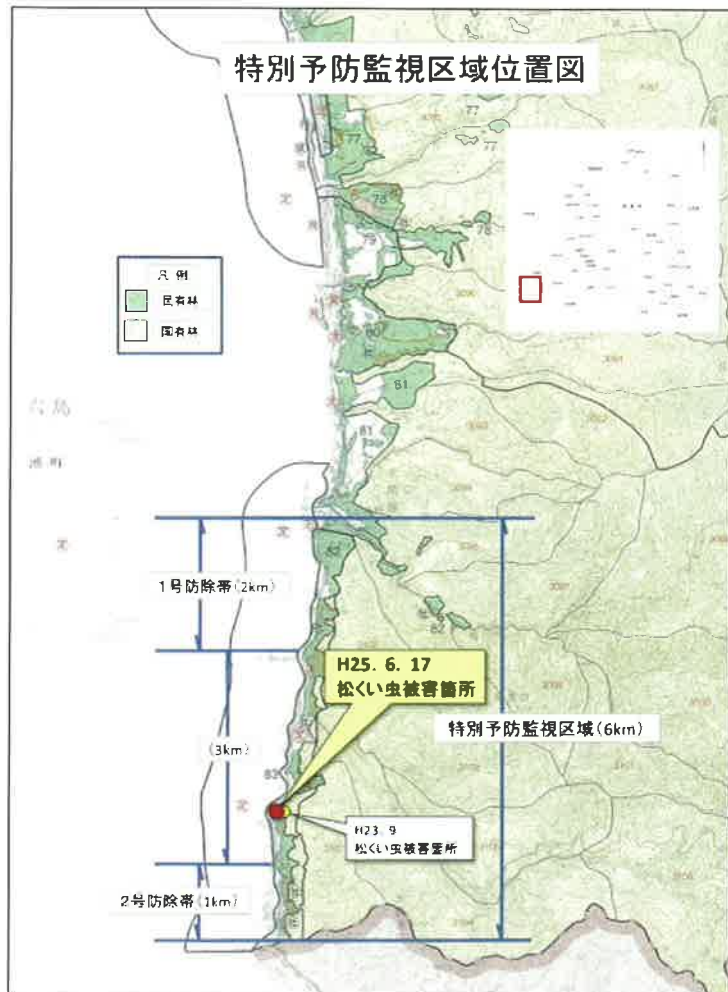
4. 今後の対応

林野庁と(独)森林総合研究所の指導・助言のもと、東北森林管理局と連携して監視区域を主体に監視を強化・徹底する。

仮に枯死木や衰弱木が発見された場合には、速やかに伐倒・くん蒸処理し、検査を実施する。

- (1) 6月27日：林野庁、(独)森林総合研究所等による現地調査
- (2) 7月5日：青森県松くい虫等被害対策協議会を開催
- (3) 7月10日、9月5日：青森県防災ヘリコプターによる上空探査を実施
- (4) 9月中旬：異常木の判読のため、空中写真を撮影

5. 位置図等



【参考】〈県内での松くい虫被害の発生状況〉

- 1 平成20年9月
平館漁港の整備工事において、県外から持ち込まれ植栽されたクロマツから発生。
- 2 平成22年1月
蓬田村の玉松台スポーツガーデン内で自生したクロマツから発生。
- 3 平成23年9月
特別予防監視区域のクロマツから発生。

松くい虫被害の発生について

深浦町大間越地区の「特別予防監視区域（以下「監視区域」という。）」内において、クロマツの枯死木からマツノザイセンチュウが検出され、同地区で本年2例目となる松くい虫被害が確認された。

1. 被害木の場所等

- (1) 場所：深浦町大字大間越字^{かけい} 寛地内
- (2) 被害木：クロマツ、37年生、1本

2. 経緯

- (1) 9月4日：青森県防災ヘリコプターによる上空探査で枯死木1本を確認。ただちに伐採処理
- (2) 9月6日：簡易検査で、陽性反応。(独)森林総合研究所東北支所(盛岡市)に精密鑑定を依頼。
- (3) 9月25日：(独)森林総合研究所から、「マツノザイセンチュウが感染していると考えられる」旨の鑑定書を受理。

3. これまでの対応

- (1) 監視区域内
9月9日：枯死木が確認されたクロマツ林(約2ha)について、全木のヤニ打ち調査～17日 査を実施。新たにヤニの流出が少ない19本が確認され、簡易検査で全て陰性と判明(9月13日)。全て伐採処理。
- (2) 監視区域以外の区域
 - ① 9月17日
旧岩崎村全域で目視調査を実施。異常木は確認されず。
 - ② 9月9日～13日
 - ・全県民局で、マツ林の目視調査を実施。
 - ・上北県民局管内で2本の枯死木が確認されたため、材片を採取し林業研究所で簡易検査を実施。全て陰性と判明(9月13日)

4. 今後の対応

- (1) 繁殖・感染源の除去
引き続き、林野庁と(独)森林総合研究所の指導・助言のもと、東北森林管理局等と連携して監視区域を主体に監視を強化・徹底するとともに、枯死木や衰弱木については発見次第、伐倒・くん蒸処理し、検査を実施する。
- (2) デジタル航空写真撮影した近赤外線カラー写真により異常木の判読等を行う。
- (3) 県のホームページや市町村の広報等により異常木の情報提供を呼びかける。

5. 位置図等



【参考】〈 県内での松くい虫被害の発生状況 〉

- 1 平成20年9月
平館漁港の整備工事において、県外から持ち込まれ植栽されたクロマツから発生。
- 2 平成22年1月
蓬田村の玉松台スポーツガーデン内で自生したクロマツから発生。
- 3 平成23年9月
特別予防監視区域のクロマツから発生。
- 4 平成25年6月
特別予防監視区域のクロマツから発生。

岩手県境で松くい虫被害発生

～県境まで最短14km地点～

平成25年9月13日、岩手県九戸村で松くい虫被害（マツノザイセンチュウ病）が発生しました。尚、経緯等については以下のとおりです。

1. 発見の経緯等

- (1) 平成25年9月3日、県北広域振興局二戸林務室職員が森林所有者からアカマツ枯死木の情報提供を受け、九戸村長興寺地内で材片を採取。9日、岩手県林業技術センターで分析したところ、マツザイセンチュウを検出。この結果、アカマツ枯死木1本が松くい虫被害による枯死と判定しました。
- (2) 発見された被害木については、九戸村が早急に駆除することとしております。
- (3) 今回の被害木は、既存の被害発生箇所から約70kmと遠く離れており、現時点で被害発生原因は不明です。
- (4) 新たな市町村での被害確認は、6月に確認された滝沢村と雫石町に続くもので、これにより県内被害市町村は17市町村になります。

2. 岩手県における今後の対応

県、九戸村及び関係機関が連携し、以下の対応策を講じていきます。

- (1) 被害木の早期発見に向け、監視体制の強化を図ります。
- (2) 村は、関係機関と連携し地域住民に枯死木情報の提供を呼びかけるなど、松くい虫被害対策の普及啓発に努めます。
- (3) 新たに被害が発生した場合は、徹底駆除を行い、周辺への被害拡大を防止します。

岩手県九戸村松くい虫被害地位位置図



平成25年度 青森県松くい虫等被害対策協議会開催

県林政課は平成25年7月5日、青森市内において平成25年度青森県松くい虫等被害対策協議会を開催した。

会議には国、県、市町村、建設造園業者、林業関係者などの職員43名が出席した。協議内容については下記のとおりである。

- ①深浦町における松くい虫被害の状況について
- ②今後の被害拡大防止対策について
- ③青森県松くい虫被害防除基本方針（案）について
- ④その他



● 発 行 ●

青森県森林病虫害等防除センター

青森市松原一丁目16番25号 青森県森林組合連合会内

TEL 017-723-2657 FAX 017-723-1505

<http://www.aomori-pfau.or.jp/>



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org